

# 株主通信

第114期中間期

2025年4月1日—2025年9月30日

小松マテーレ株式会社

証券コード 3580

まだこの星に  
できること



## トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は“技術と感性で人々と社会をより豊かに”をスローガンに掲げ、中期経営計画の達成に向けて事業拡大や基盤強化を着実に実行しており、引き続き企業価値の向上に取り組みながらお客様と社会への貢献に努めてまいります。株主の皆様のご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

2025年11月

代表取締役社長

中山 大輔



当中間期の売上は、国内向けについては営業活動を強化した衣料分野を中心に堅調に推移し、また、生活関連資材分野が好調となりました。海外向けにおいては、欧米、中東、アジア等へさらなる拡販に努めました。その結果、国内・海外ともに増収増益となりました。一方、当社が保有する投資有価証券（非上場株式）の一部について、取得価額に比べ実質価額が大幅に下落したため、投資有価証券評価損 1,232 百万円を特別損失として計上しており、通期の連結業績予想を修正いたしました。

このような中、7月にはイタリア・ミラノで開催された世界最高峰の素材見本市「ミラノ・ウニカ展」に、当社としては2度目となる単独ブース

での出展を行いました。多様な開発商品約170点のサンプルを提案し、来場者に数多くのサンプルをピックアップいただきました。市場ニーズに応える新製品の開発にも積極的に取り組み、10月には高透湿防水ファブリックの新素材「QUATTRONI® TK」をリリースしました。

また、当社直営店「までーれ 金沢ひがし茶屋街」では、4月に「天女の羽衣®」の展示・販売フロアを新たにオープンしました。新色も販売し、当社の事業の基盤である「染色」を感じていただけるカラーバリエーションを取り揃えており、今後は加賀友禅など北陸の伝統工芸職人とのコラボ商品も企画しています。石川県の観光地を代表する東山で、石川で生まれ

た素材のさらなる魅力を多くの皆さまへお届けしてまいります。

2024年より当社グループでは、中期経営計画「KFW-2026」の達成に向け、様々な具体的な施策を実行してまいりました。当中間期においては、基盤強化課題の1つである「製造環境の整備」や生産性向上に向けた工場再編への第一歩である「第二物流センター」が8月に完成し、9月より運用を開始しております。当センター新設を皮切りに工場再編を進めるべく、今後も積極的な設備投資を行い、生産設備の増強、労働環境の改善、環境に配慮した事業運営に努めてまいります。引き続き株主の皆様の変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。



# 連結財務ハイライト

■ 中間期 ■ 通期

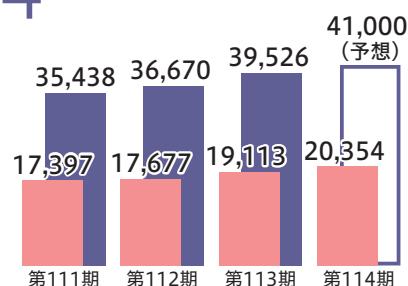
## ■ 売上高

20,354 百万円

(単位：百万円)

前年同期比

+ 6.5%



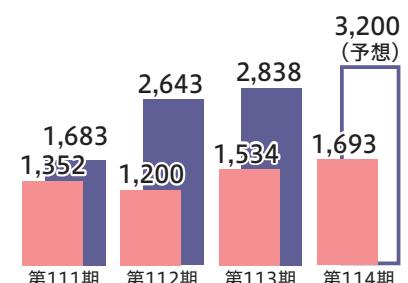
## ■ 経常利益

1,693 百万円

(単位：百万円)

前年同期比

+ 10.4%



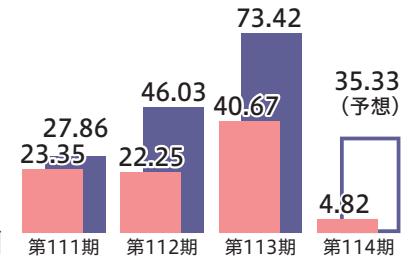
## ■ 1株当たり中間 (当期) 純利益

4.82 円

(単位：円)

前年同期比

- 35.85 円



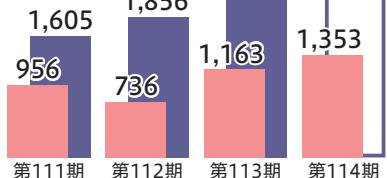
## ■ 営業利益

1,353 百万円

(単位：百万円)

前年同期比

+ 16.4%



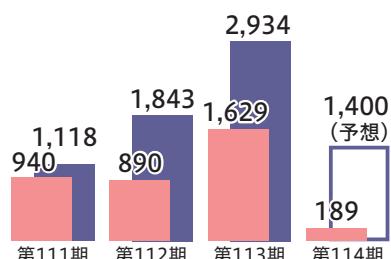
## ■ 親会社株主に帰属する中間 (当期) 純利益

189 百万円

(単位：百万円)

前年同期比

- 88.4%



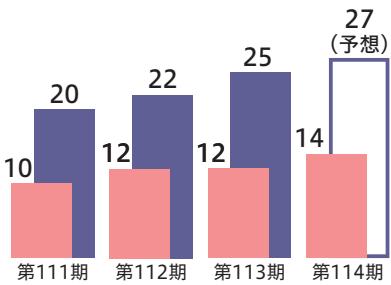
## ■ 1株当たり配当金

14.0 円

(単位：円)

前年同期比

+ 2.0 円





# 連結業績セグメント別の概況

## 衣料ファブリック部門

売上高

14,461百万円 前年同期比 3.3%増

衣料ファブリック部門については、市場の要求に応えられる高付加価値商品や環境配慮型商品を国内外の市場に積極的に訴求し、拡大を進めてまいりました。当中間連結会計期間では、スポーツ・機能分野の受注減があったものの、欧州ラグジュアリーブランドを含むファッショングおよび、中東民族衣装が増加したことから、当部門全体として増収となりました。

### ■ 低膨潤高透湿防水ファブリック「QUATTRONI® TK」誕生

#### — 低膨潤と高透湿、相反する性能を両立 —

高透湿防水ファブリック「QUATTRONI® (クアトローニ)」シリーズの進化版を新たに開発し、新素材「QUATTRONI® TK (クアトローニ・ティーケー)」として誕生しました。「QUATTRONI®」シリーズは2011年に初代を発売以来、「軽い・薄い・柔らかい・ムレにくい」という4つの快適性能を兼ね備えた高透湿防水3層ファブリックとして、スポーツ・アウトドア・ファッショング分野で採用されてきました。

その後、2024年には、当社が開発した特許技術「VDR Technology™」を搭載した、透湿防水ファブリック「QUATTRONI® EX」を発表しました。そして、今回開発した「QUATTRONI® TK」は、「QUATTRONI®」の4つの特性に加え、水に浸しても外観変化が起きにくい「低膨潤性\*」を新たに実現しております。市場ニーズを受けて誕生した低膨潤高透湿防水ファブリック「QUATTRONI® TK」は、2026年5月以降の受注を予定しており、2026年度には3億円、2028年度には10億円の受注を目指します。

\* 膨潤性 … 生地に水が浸透した際に発生する外観変化。水を吸収し、生地の体積が増大する性質。

### ■ イタリア「ミラノ・ウニカ展」に2度目の単独出展

本年7月にイタリア・ミラノで開催された国際的な素材見本市「第41回ミラノ・ウニカ展 (MILANO UNICA)」に、2度目となる単独ブースでの出展を行いました。ブースでは他社との協業品をはじめ、当社のサステナブル商品や高次機能加工商品、社内の素材開発コンテスト「Re-Creation」から生まれた新商品などを展示。当社素材への高い評価を実感するとともに、品質向上や環境に優しいものづくりの重要性を改めて認識する機会となりました。



## ■ 資材ファブリック部門

売上高

4,276百万円 前年同期比 6.1%増

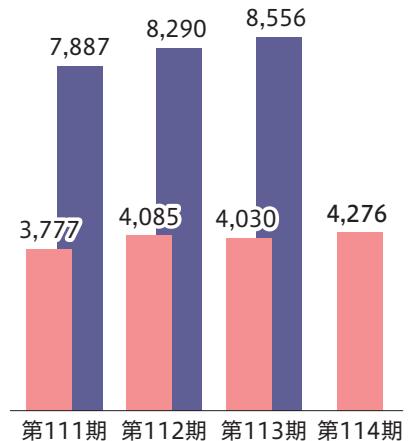
資材ファブリック部門については、リビング分野において不採算事業から撤退したものの、生活関連資材分野が大幅に増加したことから、当部門全体として増収となりました。

### ■ 汚泥減容化バイオ製剤「ペリフォーマー®」が「グッドデザイン・ベスト100」を受賞



排水処理で発生する廃棄物（余剰汚泥）を削減できるバイオ製剤「ペリフォーマー®」が、「2025年度グッドデザイン・ベスト100」を受賞しました。システム/サービス分野では石川県内で初となります。オーダーメイドのバイオ製剤と適切な運転管理技術の組み合わせにより、汚泥廃棄物を最大100%削減できる革新的な技術であり、持続可能な社会に貢献できる技術として高い評価をいただきました。今回の受賞を契機として、「ペリフォーマー®」の普及をさらに加速させ、余剰汚泥の削減による環境負荷低減・コスト削減に努めてまいります。

■ 中間期 通期 (単位:百万円)



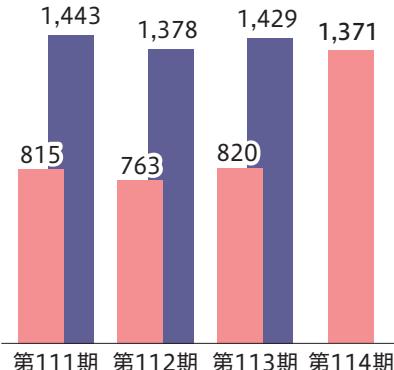
## ■ 製品部門

■ 中間期 通期 (単位:百万円)

売上高

1,371百万円

前年同期比  
67.2%増



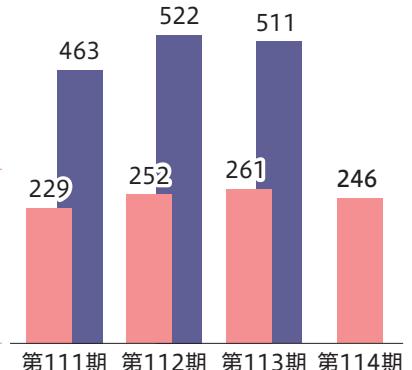
## ■ その他の事業

■ 中間期 通期 (単位:百万円)

売上高

246百万円

前年同期比  
5.6%減





## 「小松マテーレ第二物流センター」完成

本年3月より建設を進めていた当社の工場再編の第一歩となる物流倉庫「小松マテーレ第二物流センター」が完成し、9月より稼働を開始いたしました。

当センターはBCP（事業継続計画）対策や環境に配慮し、太陽光パネルや蓄電池利用により100%再生エネルギーで運用します。公的電力の供給停止時には、非常用電源としての使用も可能です。また、新耐震基準を満たす新倉庫の設立で労働環境の安全確保と作業環境の改善を図り、倉庫集約による効率的な運営を実現します。

この新設を機に、さらなる労働環境の改善やBCP対策、環境に配慮した事業運営を目指すとともに、生産設備の改革やリノベーションに積極的に取り組んでまいります。



## 「までーれ 金沢ひがし茶屋街」新フロアオープン



本年4月、当社の直営店「までーれ 金沢ひがし茶屋街」（金沢市東山）の2階に、独自技術を使ったオリジナル商品「天女の羽衣®」の展示・販売フロアを新たにオープンしました。当社のグループ会社「合同会社アマイケ」が織り・染色・縫製まで一貫生産する「made in 能登」の極薄素材を使用したストールやポケットチーフを多数展示・販売し、従来の1階フロアだけでは表現できなかつた、素材の美しさを目で見て、触って感じていただける空間となっています。

商品の陳列にもこだわり、素材の価値をお客様に伝える新たな展示スペースとして活用してまいります。

### 天女の羽衣®

髪の毛の約1/5程の細い糸から織られた、ふわり艶やかな世界最軽量級の極薄素材です。新フロアのオープンにあわせて、環境配慮型素材「Onibegie®」の染色技術を用いた新色を販売開始しています。





## 小松マテーレグループは独自の加工技術や先端素材で地球・社会の課題解決に貢献します

だれもが安心して暮らせる社会を目指し、小松マテーレグループは5つの行動目標からなる「小松マテーレ・サステナビリティ・ビジョン」を掲げ、様々な活動や製品開発に取り組んでいます。今回は「II 循環型社会づくりへの貢献」の推進の一環として、「Textile Exchange Conference 2025」への参加をご報告します。

### 小松マテーレ・サステナビリティ・ビジョン



I 気候変動対策



II 循環型社会づくりへの貢献



III 人々の感動の創造



IV 防災・減災への取り組み



V 地域貢献と社員の成長



紹介動画

## 持続可能な繊維産業の実現を目指すための国際会議 「Textile Exchange Conference 2025」に参加

ポルトガルで開催された「Textile Exchange Conference 2025」に参加いたしました。当カンファレンスは、当社が本年4月に認証を取得したGRS認証\*を運営しているアメリカのNPO法人「Textile Exchange」によって毎年開催されており、ファッションブランドや製造業者、学術関係者などが一堂に会し、気候変動に関する課題や解決策について協力して模索する会合となっております。

今回のカンファレンスでは「Shifting Landscapes (変化する風景)」をテーマに、気候変動や自然資本、人権に対応した素材調達と産業構造の転換を中心に議論が行われました。また、会場内には展示ブースも設けられ、参加者同士の交流が活発に行われました。

今回の参加を通じて、多くのラグジュアリーブランドが参画する「Textile Exchange」の思想や方向性を理解するとともに、「再生型・循環型の生産システム」への転換が進む流れであることを実感いたしました。今後は、国内外のブランドのサステナビリティ担当者との良好な関係構築をさらに進めていくため、積極的にこのような国際的なカンファレンスへの参加を重ね、業界の最新の動向をリアルタイムに把握し、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

### \* GRS認証とは

アメリカのNPO法人 Textile Exchangeによって定められた国際的な自主基準。

リサイクル、加工流通、社会・環境、化学物質等の運用や規制に関わる第三者認証の要件を設定しています。



明 日 を 想 う 。



## 株式情報

2025年9月30日現在

発行済株式総数
43,140,999株

株主数
6,741名

### 所有者別分布状況

個人その他 7,971千株 (18.48%)	金融機関 11,800千株 (27.35%)	その他の法人 11,500千株 (26.66%)	外国法人 7,411千株 (17.18%)
証券会社 537千株(1.24%)	自己株式 3,919千株(9.09%)		

### 大株主（上位10名）

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
THE SFP VALUE REALIZATION MASTER FUND LTD.	3,814	9.72
東レ株式会社	3,749	9.55
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	3,571	9.10
株式会社北國銀行	2,001	5.10
小松マテーレ松栄会	1,857	4.73
日本生命保険相互会社	1,284	3.27
三井住友信託銀行株式会社	1,230	3.13
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SPECIAL OMNIBUS SECS LENDING ACCOUNT	1,051	2.68
三谷産業株式会社	892	2.27
第一生命保険株式会社	775	1.97

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 会社情報

### 会社の概況

商 号 小松マテーレ株式会社

設立年月日 1943年10月8日

資 本 金 46億8,042万円

本 社 〒929-0124 石川県能美市浜町又167番地

本社製造部 同上

美川製造部 石川県白山市鹿島町1号7番地1

大阪営業所 大阪府大阪市北区梅田二丁目2番22号

ハービスENTオフィスタワー8階・9階  
東京営業所 東京都港区南青山二丁目5番17号  
ボーラ青山ビルディング12階

北陸営業所 石川県能美市浜町又167番地  
小松マテーレ株式会社 本社2階

### 【表紙・裏表紙の写真】

今年新たに制作した企業広告デザイン。小松マテーレ本社から望める白山と日本海を中心に構成、「まだこの星にできること 明日を想う。」をキャッチコピーとし、清らかな自然に育まれた石川の地から、未来へ挑み続ける想いを表現しました。当社はこれからも驚きと感動があふれる素材の開発に取り組んでまいります。

公式SNSで情報発信中！



小松マテーレ株式会社  
<https://www.komatsumatere.co.jp/>

